

# テクスパン



## 特長・ポイント

盛土とアーチ構造物が一体となり  
3ヒンジのアーチ構造物となる工法です。

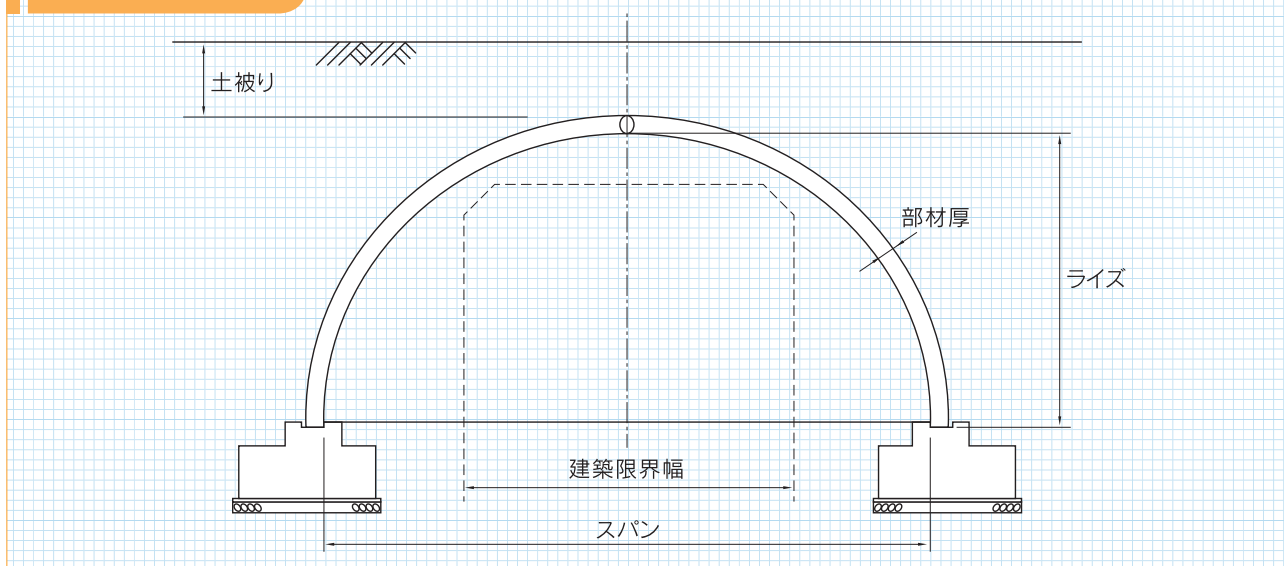
静定構造のため、外力と釣り合いながら変形するのでアーチ部材に発生する曲げモーメントを軽減できます。

従来の現場打ちカルバート構造に比べ薄い部材で高い土被りや大スパン（20m程度）に適用できます。

## 製品寸法表

建築限界幅(m)	適応土被り(m)	スパン(m)	ライズ(m)	部材厚(cm)	部材幅(m)	軸線長(m)	部材重量(t/枚)	m当り重量(t/m)
4.0以下	1～3	8.0	4.2	25	1.25	13.34	5.2	8.3
	4～10	8.0	4.4	25	1.25	13.61	5.3	8.5
5.0	4～10	9.0	5.3	25	1.25	15.84	6.2	9.9
	1～3	10.0	5.1	25	1.25	16.37	6.4	10.2
7.0	4～10	11.0	5.7	25	1.25	18.01	7.0	11.3
	1～3	11.0	5.6	30	1.25	18.08	8.5	13.6
8.0 9.0	1～3	12.0	6.0	30	1.25	19.50	9.1	14.6
	4～10	12.0	6.2	30	1.25	19.69	9.2	14.8
10.5	4～10	13.0	6.8	35	1.25	21.58	11.8	18.9
	1～3	14.0	6.3	35	1.25	21.64	11.8	18.9
12.0	1～3	15.0	6.8	35	1.25	23.29	12.7	20.4
13.0 14.5	1～3	16.0	6.8	40	1.25	24.31	15.2	24.3
	1～3	18.0	7.5	40	1.25	27.06	16.9	27.1

## 製品形状図



### 【ご注意】

- アーチ部材架設は、最初の5部材のみレッカー2台での作業となります。
- アーチ基礎は土被り、下部地盤条件によって異なります。
- テクスパン縦断勾配は6%までとします。
- 標準化テクスパンは、竹割り坑口、曲線用途には対応していません。
- 標準化にないサイズについては規格外となります。詳細については別途ご連絡ください。

擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法・その他